



あだち野のむかし物語

ずーっと、ずーっと、昔ナイ。

お杉さんの伊勢参り①

いまから千年ほどむかし、京の都に精頭という若者が、菜の花の咲く頃陸奥めぐして旅にでました。陸奥に着いたときは、もう秋のなかばで、紅葉の美しい山をながめながら、杉沢の里にさしかかりました。

その夜、精頭は杉沢の里からほど近い新殿の旅籠吉田屋に泊まりました。精頭は昼間見た泉の娘のことを思い出し、なかなか寝つかれずにおりました。

と娘は、琴に合わせて歌いました。それは天人のそれと思わせる、美しい声でした。精頭は思わず娘のかたわらへにじりよりました。とたんに、娘の姿も緑の光も消え、精頭は真つ暗な部屋に一人座っております。

(8月号に続く)

のどが渴いた精頭は、道ばたにこんこんと湧き出る泉を見つけ、近寄って手をさしだしましたが、泉の水に映っている娘の姿を見て、おどろいて手をひきました。年のころ十六、七の美しい娘が、愛しげに精頭を見つめているではありませんか。精頭が振り返って見ると、そこには娘はおらず、ただ、すらりとした杉の若木が一本立っているきりでした。精頭は不思議なこともあるものだと、また泉の水を覗き込みましたが、もう娘の影はきえうせておりました。

夜半近く精頭は、隣の部屋に人の気配を感じましたが、泊まり客でも着いたのだらうと気にとめずにおりました。やがてサヤサヤと木の葉のゆれ動くような音がし、それがいつか、妙なる琴の音にかわり、すうつと間の襖が開き、緑色の光がさしました。精頭は思わず、床の上に起き上がり、目をこらし緑色に輝く部屋を覗くと、美しい少女が、琴を前にして座っております。まぎれもなく泉に映っていた娘でした。

あいも見つ

見られもしつつ思い川  
思うは後のおうせなりけり



あだち野のむかし物語  
安達地方広域行政組合  
ウェブサイト

二本松警察署からのお知らせ

犯罪発生状況(令和7年1月~5月末)

	二本松地区	安達地区	岩代地区	東和地区	不明等	合計	前年対比
侵入盗	空き巣	1	1			2	2
	出店荒し	1(1)				2(1)	
	その他	5	2		3	10	6
非侵入盗	万引き	8	10(1)			18(1)	12
	車上ねらい						-5
	その他	18(2)	6	13(4)	4(2)	41(8)	17
	自転車盗	2	1			3	1
	器物損壊	3(1)	1			4(1)	2
	住居侵入	2			1	3	2
	その他	11(3)	4		1	17(3)	1
合計	50(7)	26(1)	14(4)	9(2)	1	100(14)	38
前年対比	21	8	8	2	-1	38	

※( )は5月の発件数



地域で子供の見守りを!!  
日常生活の中、気軽にできる「ながら見守り」活動の協力をお願いします。



ニセ警察詐欺が多発!

警察は自動音声ガイダンスやショートメール・SNSで連絡は絶対しません!  
こんな話があったら詐欺です。



- このままではあなたは逮捕される
- あなたの名義の携帯電話、通帳が犯罪に使われている。
- あなたの資産を保護する。

-POLICEアプリ&ふくしま登録再発中-  
警察の安全安心を守るアプリです。  
QRコードから登録してください。  
二本松警察署電話 23-1212

